

■ 食資源不足へのソリューション提供

<不二製油グループのDNA>

西村政太郎

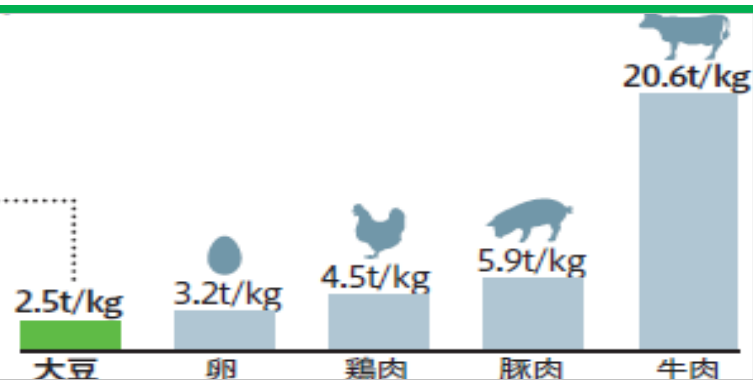
「将来の人口増加による食資源不足に、大豆たん白がきっと役に立つ」

大豆の価値：

- ・ 環境負荷が小さい
- ・ 人の健康に良い

大豆生産時の
水消費量は
牛肉の12%

※ 出典：東京大学生産技術研究所
沖研究室



<不二製油グループの**PBFS**（**P**lant-**B**ased **F**ood **S**olutions）>
動物性たん白源の代替となる大豆素材を社会に提案！



カツ風



唐揚げ
風



チーズ
風



ウニ風

■ パーム油のサステナブル調達

パーム油のサプライチェーンと不二製油グループ



■ パーム油のサステナブル調達 全体像

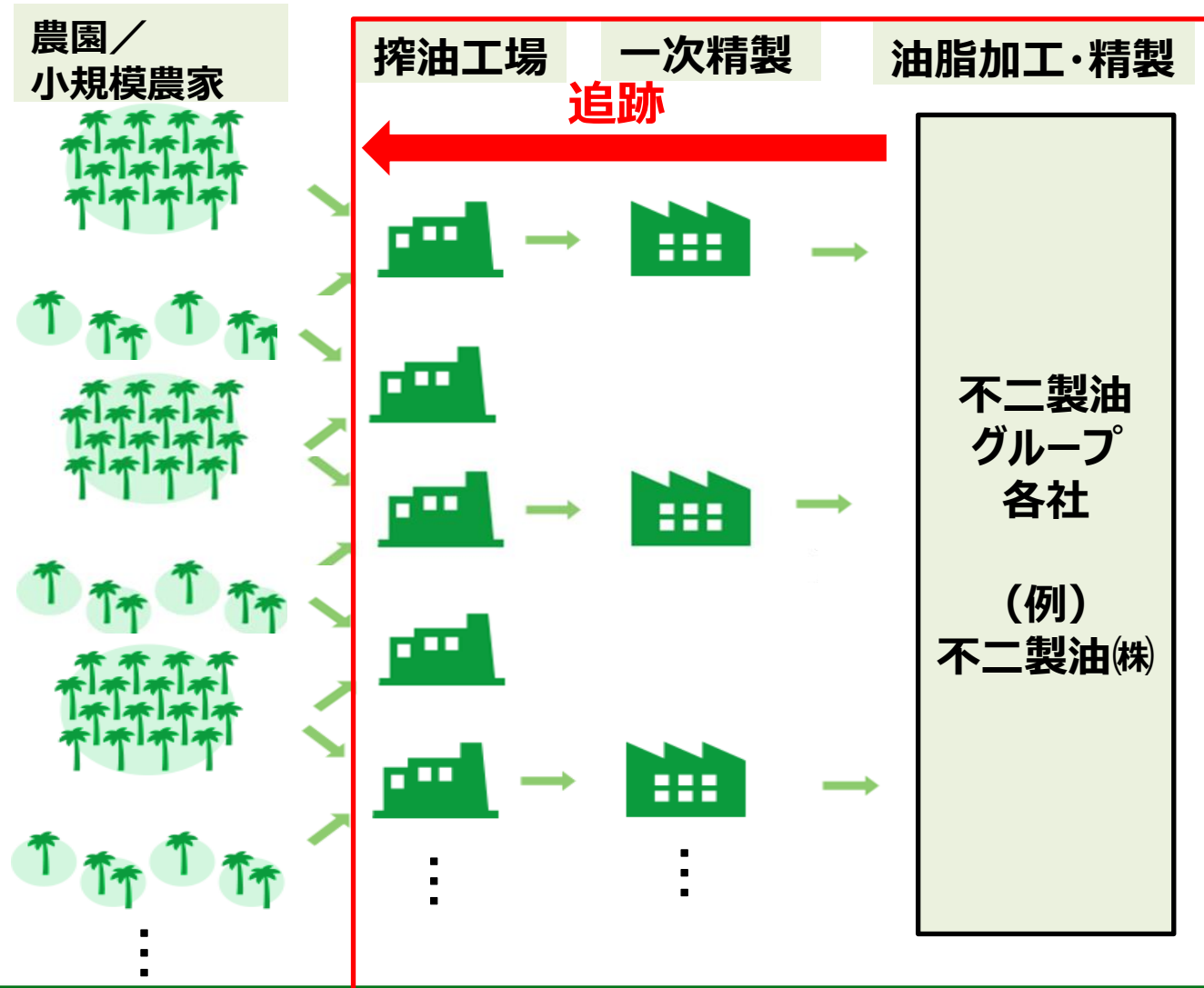
考え方	不二製油グループ憲法 人のために働く			
	環境基本方針／人権方針			
	責任あるパーム油調達方針 森林破壊ゼロ, 泥炭地開発ゼロ, 搾取ゼロ (NDPE)			
取り組み	① RSPO＊ 加盟と 認証油 取扱い	サプライチェーン改善活動		
		② トレーサ ビリティ	③ 海外 一次精製G会社 サプライチェーン 改善活動	④ 直接サプ ライヤー との エンゲージメント
連携先	RSPO	⑤ グリーバンス (苦情 処理) メカニズム		
		Earthworm (旧TFT)		

＊ RSPO : Round Table on Sustainable Palm Oilの略。
持続可能なパーム油のための円卓会議。

■ パーム油のサプライチェーン改善活動（②トレーサビリティ）

目標：2020年に**搾油工場までの追跡率100%**

進捗：2018年7月～12月 **搾油工場までの追跡率99%**



■ パーム油のサプライチェーン改善活動

＜ 2 系統のサプライチェーン別に推進＞

③当社グループ 一次精製会社の サプライチェーン

＜考え方＞
フィールドワーク
改善活動の推進

フィールドワーク

農園会社

⋮

小規模農家

⋮

搾油
工場

⋮

パーム
油

不二製油グループ

当社グループ
一次精製
会社
(マレーシア)

不二製油
グループ
会社

④直接 サプライヤーの サプライチェーン

＜考え方＞
直接サプライヤー
との
エンゲージメント

エンゲージメント

農園会社

⋮

小規模農家

⋮

搾油
工場

⋮

直接
サプ^ライヤー

⋮

パーム
油

■ パーム油のサプライチェーン改善活動

【③当社G一次精製会社のサプライチェーン】

- ・ 搾油工場向けセミナー開催
- ・ サプライチェーンの現場（農園）調査
- ・ 改善支援&改善事例の横展開

＜成果＞

- ・ 移民労働者200名以上にパスポート返却
- ・ 雇用契約書の言語対応



【④直接サプライヤーのサプライチェーン】

- ・ 直接サプライヤーとエンゲージメント
- ・ 加えて、直接サプライヤー、NGOと
小規模農家支援プログラム実施

＜成果＞

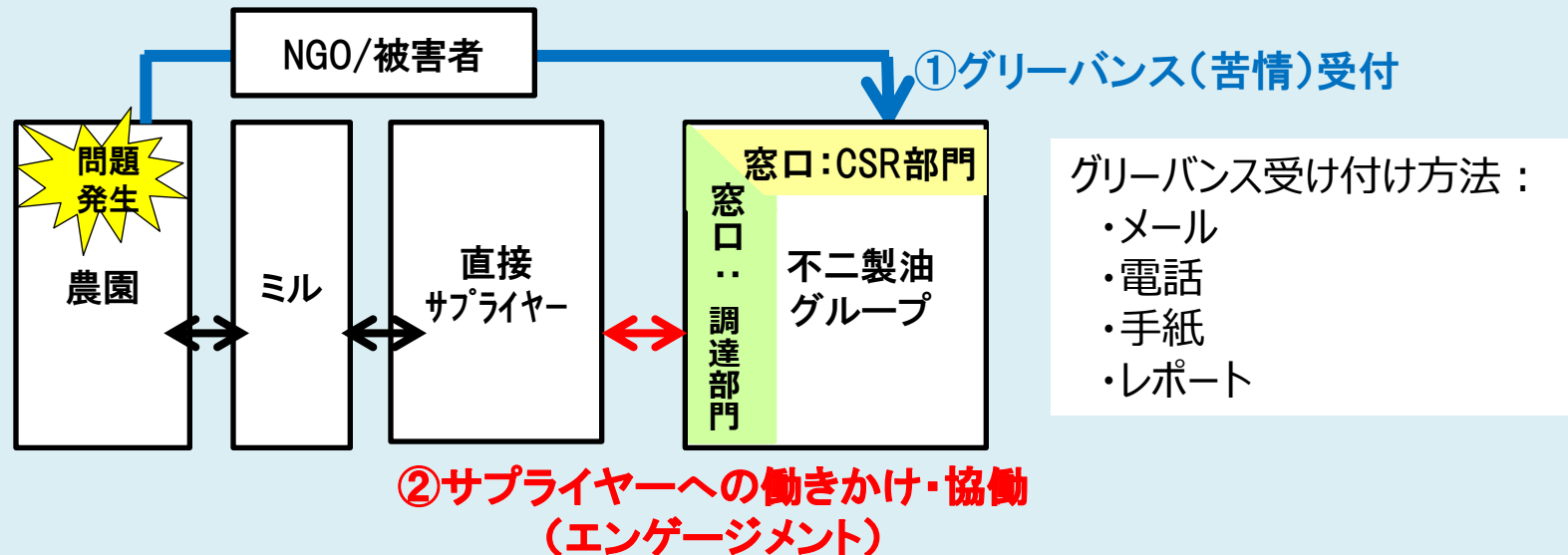
- ・ 累計191軒の小規模農家がRSPO認証取得
- ・ 使用農薬の減少
- ・ 農家の収入向上



■ パーム油のグリーンバンスメカニズム（苦情処理メカニズム）

- 2018年5月よりグリーンバンスメカニズムを運用。
- グリーンバンス進捗状況を「グリーンバンスリスト」に纏め公表。
- 当社は農園・搾油所を保有していない為、
直接サプライヤーへの働きかけ（**エンゲージメント**）が基本的対応

【⑤グリーンバンスメカニズム】



<日本産業界の動き>

- ・ 対話・救済ガイドライン
- ・ 苦情処理センター構想（影響力・効率性の向上）

■ 学びながら推進

対話・学習の機会	活動実績
16年9月 有識者ダイアログ 「国連ビジネスと人権指導原則」	16年10月 ビジネスと人権指導原則の勉強開始
16年11月 国連人権フォーラム 「人権尊重は企業の責任」	17年3月 人権デューディリジェンス実施 17年4月 人権方針の策定、公表
17年11月 国連人権フォーラム 「苦情処理メカニズム」	18年5月 苦情処理メカニズム構築・公表

■ 環境ビジョン2030

<学んだこと>

「パリ協定とSBT（Science Based Target）」



- ・ 2018年度に「環境ビジョン2030」を策定
- ・ CO2排出削減目標は、
パリ協定を実現するためのScience Based Targetの考え方に基づく
- ・ 生産技術／燃料の転換等様々な側面から目標達成を目指す

■ 不二製油グループ 環境ビジョン2030

2030年に以下の目標を達成することを目指しています。
(基準年：2016年)

- ① CO2排出 総量で24%減
 - ② 水使用 原単位で20%減
 - ③ 廃棄物 原単位で10%減
 - ④ 資源リサイクル 再資源化率99.8%以上
- ※①～③は不二製油グループ全体、④は日本に適用

不二製油グループ本社取締役会

諮問機関



答申、意見具申

ESG委員会

【体制】

- ・ 委員長：最高ESG経営責任者（C"ESG"O）
- ・ メンバー：CEO、CFO、CAO、CTO、CSO
- ・ アドバイザー：社外有識者1名

【機能】

- ・ 当社事業に関するESGテーマについて審議し取締役会に対して答申・意見具申する
- ・ ESG経営・重点テーマの選定に関する審議
- ・ ESG経営・重点テーマの進捗状況の全体把握



特定

15のESG経営・重点テーマ

テーマ毎に推進責任者を選定し、各社・各部門において推進

1. 不二製油のご紹介
2. SDG s に対する認識とESG経営の考え方
3. ESG経営・重点テーマ
- 4. 社会との対話**

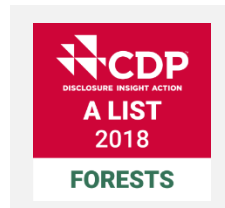
■ 社会との対話

ステークホルダーとのコミュニケーションはESG経営推進の基盤！

種類	考え方	取り組み（例）
Investor Relations (IR)	スーパー正直	・ スモールミーティング（国内、海外） ・ 社外取締役と投資家との対話
Public Relations (PR)	スーパー正直	・ トップによる社会への発信 ・ 有識者ダイアログ ・ NGOとのコミュニケーション（対話する相手）
Employee Relations (ER)	スーパー正直 + 自分事化	・ トップダウンでの情報発信 ・ 部門研修

■ 社会からの評価

評価・実績	メリット
CDP森林「A」評価（19年1月）	機関投資家の注目Index
CDP気候変動「B」評価（同上）	
三井住友信託銀行様のポジティブ・インパクト・ファイナンス（PIF）に合格、契約 ※（株）日本格付研究所の第三者意見	事業戦略サポート
日本政策投資銀行様（DBJ）の環境格付融資でランクA（特に先進的）取得	



■ 所感（まとめに代えて）

＜これまでの活動を振り返り＞

1. 経営トップのコミットメント

- すべての活動の始まり

2. ステークホルダーとの対話

- 活動推進の基盤
- 「それでも対話する」ことがエンゲージメント
- SDG s ／ 国連ビジネスと人権指導原則／パリ協定 は世界の共通言語

＜今後に向けて＞

社内理解（自分毎事化の壁）

- 社会の変化、危機感、期待を伝える
- 企業価値向上とのつながりを見える化

ご清聴、有難うございました。